

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2017年12月1日 171号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

レダの12月



レダ公館に架かる鍋弦の虹。



グアバの花（12月中旬）

猛暑、猛雨、猛風、猛雷の大地上に現れるもの！

十二月のレダ基地。南半球なので季節は夏、そのピーグがやつて来るのが十二月、雨季の真っただ中です。まず、雨季について。九月に早々と40℃を越えた気温は、その後も容赦なく上昇し続け、激暑、酷暑という表現でも物足りなくなります。突風が砂塵を巻き上げて襲来すればたちまち視界はゼロ同然、これが猛風の前兆だということを、動物も人も知っています。雷雨には雷が伴うこともあり、天地間に炸裂する雷光・雷鳴の凄まじさは「天地創造の日はかくありきか」と思うほど。20 Kmほど離れて見れば、壮大な花火大会のようです。電柱4本の距離（約100m）を2秒で吹っ飛ぶドラム缶。こんな天候の時は、屋外に出られません。これも数時間の辛抱です。やがてすべてが過ぎ去り、穏やかな天と地が姿を現します。雨後の太陽は、大空に完璧な鍋弦（半円）を成す虹を描きます。再び草を食む牛、馬、羊たち。地面にたまつた水を飲む鳥たち。そして繁殖の機会をうかがっている昆虫類も、魚類も、草木も、大自然の恵沢を見逃すことはありません。

レダ潜入者たちです。彼らもまた、大自然の恵みを享受する力があります。それは、勇者のオーラがあります。それは、老いも若きも、男も女も皆同じ。彼らは、勇者たちです。

（小田記）



道路を固める作業



整備が進むエビの養殖池



万力で作業する前川氏



滑走路を整備する。



トマト栽培



ブーゲンビリアを剪定する坂口氏



カピバラにミルクをやる豊村氏

カピバラの赤ちゃんが生まれた。11月11日撮影。



ジャカランダの花



パラトドの花



公館わきのチバトの木

今、レダ基地では
Leda Ahora

レダの中長期青年ボランティアに尋ねました

現在、三人の青年がレダで奉仕活動に励んでいます。アスンションに行っていた三宅君を除く二名に質問しました。
①レダの印象は？②レダで担当していることは？③レダで最も苦心したことは？
④レダで最もうれしいことは？⑤将来の抱負日本の皆様に一言⑥その他、何でもどうぞ。

●木村明弘 ①第一印象は、本当に自然以外何もないな、と思いましたが、個人的にはそういう場所が大好きなので最高です。

②養豚です。③自分自身に対する葛藤。④先生方によく褒められること。ほぼ毎日神様を感じられること。自分の目標に向かって前進していると感じられること、などなど。⑤まだ何とも言えない（笑）⑥スイミングプールがあるし、エアコンもあるし、Wi-Fiもあるし、ご飯はおいしいし、思つたより全然過ごしやすいですよ。ただ蚊が多いからムヒは沢山持ってきたほうがいいかも。

個人的には良い場所です。⑦ここレダに来て最初の一週間くらいで食事に対する意識が変わりました。自分の為に食事を取ることがなくなり、私の体を通して神様の願いを叶える為に、人の為に生きるために食事をとるようになります。また毎日の個人的な勉強、訓読、祈祷も心を集中してやっています。レダでの人間関係につきましても良好です。ただ、先生方一人一人の個性は強いです。あと、養豚関係の業務を今は任せます。

ブタランドにて

任



パクーの給餌

⑦レダにお出でください。



語る佐野道准講師



語る島田賢二青年局長

（四面に今回参加者の感想文あり）

二十五年後、三十年後の世代にも受け継がれなければならぬと思わされました！

第十五回パンタナール一日特別研修会

十一月四日（土）午前十時より、川崎市の大山街道ふるさと館二階イベントホールにおいて、当法人とNPO法人地球の緑を守る会の共催により、第十五回パンタナール一日特別研修会（ワンディ・セミナー）を開催し、六十一名が参加しました。その中には、人からこのセミナーを薦められて、遠く山口から夜行バスで駆けつけた青年もいました。

プログラムは、中田欣宏理事長のあいさつ、柴沼邦彦理事による「レバレンジ・ムーンの思想とレダ開発」、佐野道准氏（現地財団副理事長）による「南米レダプロジェクトの現状と理想郷建設」、高津啓洋地球の緑を守る会代表理事による「地球環境問題の今とその方策」、島田賢二青年局長による「第十七回青年奉仕隊とこれから」と続きました。

今回の特色として、来日中の佐野氏が自身のレダにおける豊富な活動経験に基き、「青年教育の場としてのレダ」について四つの大きな意義を解説しました。最後に恒例の分科会があり、各人が希望する

分科会に参加して、講師や他の参加者たちと親しく質疑応答、意見交換などの交流をしました。

次回は、平成三十年四月十四日（土）、東京

代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催する予定です。

岩澤春比古氏がレダに出発！長期赴任へ

当法人理事および神奈川総支部長として、長く当会の活動に尽力してきた岩澤春比古氏が、十一月一日、成田空港22時発のカタール航空機で、元気よく、笑顔でパラグアイへと出発しました。空港では、夫人の正子さんと大滝順治氏が、岩澤氏の出発を見送りました。岩澤氏は、アスンシオンで永住ビザ申請の手続きをした後、レダ基地に向かう予定です。以下、大滝氏からの報告です。

「空港第二ターミナル内のレストランで、岩澤夫妻と私の三人で、岩澤氏の出発を祝つて乾杯をし、懇談をしました。正子さんが夫の春比古氏の海外渡航に際し、成田空港まで見送りに来たのは初めてだそうです。なぜかとお聞きしたところ『海外へ行くのは日常の事なので。いつもは新宿駅までですよ』とのこと。しかし今回は荷物が多くた事もありますが、特別な意義を感じ、成田空港まで来られたのだそうです。いろいろとお聞きする中で、意識が常に世界にあるご夫妻に、改めて敬服しました。岩澤氏に、レダでの抱負をお聞きしました。

① 中田所長を心の底から敬愛し、レダ全体がこれまでにも増して力を合わせて邁進するよう、共に頑張つて行く。② 経済基盤の確立に向けて全力を尽くす。③ 青年たちがレダに希望を感じ、積極的に参加できることで貢献したい。④ 現地参加のメンバーに築かれたレダの伝統をかかして）訓練することに努めたい。そして『生涯現役！』をモットーに、レダでの生活を送りたい。こう語られた、岩澤氏の笑顔が印象的でした。」

第15回パンタナール一日研修会参加者の感想文

(抜粋)



● 柴沼先生がとても熱く語ってくださいました。私は農学を学んでいて、環境問題、食糧問題の解決に向けてレダに行つてみたいと思つていましたが、今回の話を聞いてさらに思いを強くしました。参加して本当に良かったです。(23歳男性) ● 本当に感動しました。特に地球温暖化が植林によつて防げることは、身近なところで出来るのではないかと思いました。皆様の精誠の姿勢を見せて頂き希望となりました。(74歳女性) ● レダ建設は地上の天国のひな型を作つているわけであり、ここで成功すれば全世界に展開できるモデルになると本当に思います。皆でサポートするべきだと思つています。(50歳男性) ● 一度伺いたいと思って参加しましたが、内容のすべてに涙し、感動しました。高津先生の植樹の話は日本の今後に於いての重要な話と思います。25年後、30年後の次世代にも受け継がれなければなりません。島島田さん良くなつて下さり期待が持てました。佐野先生の18年のご苦労に身の浸みる思いで聞かせていただきました。島島田さん良くなつて下さり期待が持てました。佐野先生の18年のご苦労に身の浸みる思いで聞かせていただきました。(女性) ● 何もないところからあそこまで人の住める環境を作り、周りのために学校を建てたり、木を植えたりと困難な状況の中でここまで愛を投入して初めて世の中に認められていいくのだと感激いたしました。(30歳男性) ● パンタナール開発の理念は素晴らしいです。それを実践していきたいです。それをしてきた人々がいることは私たちにとって宝です。これからも人でも多くの方にパンタナールディセミナーを紹介したいです。(46歳女性)

一般社団法人南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）
記号10280 番号61349751
一般社団法人 南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.com
ホームページ：asd-nsa.com

会員種別

♠会員一口1000円／月

♠特別会員一口1万円／月

♠法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。
会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：シャ)南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページからも入手できます。

お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局

office@asd-nsa.com
へお願いします。